

令和4年度第11回 感染症発生動向調査部会

令和5年2月15日

月番：澤田 明

1 前月の感染症発生動向について（2023年第1週～4週・1月）

<全数把握対象疾患>

- 一類感染症の報告はなかった。
- 結核は15例あり、毎週コンスタントに報告された（前年比：88.2%，2019年比：45.5%）。高齢者および若年層の2峰性分布に変化はなかった。
- 腸管出血性大腸菌感染症は、1例（その他：1例）報告された（前年比：100.0%）
- 四類感染症の報告は全てレジオネラ症（2例）であった（前年比：200.0%，2019年比：200.0%）
- 五類感染症
 - ✓ 侵襲性肺炎球菌感染症は3例報告された（前年比：150.0%，2019年比：37.5%）
 - ✓ 梅毒は7例報告された（前年比：140.0%，2019年比：233.3%）。
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症は、65783例報告された。

<定点把握対象疾患>

- 前月と比較し増加傾向にある疾患
 - ✓ インフルエンザ（前月比：31825.0%，2019年比：7.0%）---全国と比較し少なめ？例年よりは少ない
 - ✓ 感染性胃腸炎（前月比：224.4%，2019年比：88.5%）

2 検討すべき課題

インフルエンザ流行について（継続）

3 情報提供（感染症対策推進課から）

サル痘の発生状況について

小児急性肝炎について

<検討結果>